

「サステナビリティ・リンク・ローン（京都ゼロカーボン・フレームワーク）」の取組みについて



2024年11月25日

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、取引先の脱炭素化支援の一環として、「サステナビリティ・リンク・ローン（京都ゼロカーボン・フレームワーク）」（以下、本ローン）の取組みを進めています。

2024年10月に当金庫取引先1社が本ローンを取り組みされましたのでお知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ローンとは、SPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）の達成に応じて金利優遇等のインセンティブを付与する融資のことです。

京都ゼロカーボン・フレームワークとは、京都府が地域金融機関等とともに ESG 投融資（サステナブルファイナンス）を促進し、府内企業の脱炭素化を支援する全国初の仕組みであり、2023年1月に構築されました。

CO2 排出量削減目標の達成により金利優遇を受けられる融資契約において必要な第三者評価に、京都府地球温暖化対策条例に基づく特定事業者制度を準用することで、審査に要する費用が不要になるものです。京都府や金融機関へのレポーティングを通して、中小企業の CO2 排出量削減を金融面からアシストする仕組みとなっています。

尚、本ローンの枠組みそのものが国際基準（※）に適合した形態で、その旨の第三者意見書を株式会社日本格付研究所（JCR）から取得しています。

※ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）が定義する「サステナビリティ・リンク・ローン原則（SLLP）」および、環境省が定義する「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）」

記

【取組企業の概要】

<敬称略>

借入人	株式会社 ヤマダ製作所 代表取締役 山田 貴博
所在地	京都府宇治市大久保町平盛71-14
事業内容	機械加工業
実行日	2024年10月30日（水）
資金使途	運転資金
脱炭素化の取組み	社内で削減目標を共有し、社員の省エネ意識を向上させるとともに、設備更新の際は、省エネ設備を積極的に採用する等、CO2 排出量削減を目指します。

以上